

| 第3次 地域福祉計画 | |
|--|----------------------|
| 健塚 刊 | 例益 表 |
| 1 みんなで支え・参加する東村山の福祉 <社会参加の促進と交流の推進> | 福祉に対する理解の促進 |
| | 人にやさしい生活・まちの整備 |
| | 個性を尊重し可能性を伸ばす環境の整備 |
| | 自立と社会参加を促す就労支援 |
| 2 市民の声を聴き・ともに考える <総合的な相談・情報提供体制づくり> | 相談体制の充実 |
| | 情報収集・提供体制の充実 |
| | 保健・福祉情報の一元管理 |
| 3 ひと・もの・しくみの活用と整備 <社会資源の有効活用と関連施設の整備> | 人材育成と人的資源の活用 |
| | 基盤的施設整備の充実と多面的・有効的活用 |
| | 社会福祉協議会との連携 |
| 4 日常生活の中での福祉の充実 <身近な地域でのサービスの充実> | 地域での見守り体制の充実 |
| | こころとからだの健康増進 |
| | 地域生活を支える福祉サービスの充実 |
| 5 福祉へのまちづくりの協働体制 <地域福祉の協働・推進体制の整備> | 地域福祉のエリア構想 |
| | 安心・安全なまちづくりの推進 |
| | 地域福祉推進体制の再編 |

| |
|---|
| 「ハードの整備」として、基本目標4へ |
| コミュニティに関してを基本目標1へ サービス提供者に関してを基本目標4へ |
| 地域福祉体制の充実として基本目標1へ |
| 「支えあう」として基本目標1へ |
| 「安心」として基本目標3 |
| 「つながり」として基本目標1へ |

| 第4次 地域福祉計画 | |
|--|--|
| 健塚 刊 母 蘆 | |
| 1 みんなでつながり、参加する東村山の福祉 (考え方) これからの地域社会は参加と協働がより重要となってきます。お互いを認め合い、交流していくことで支え合いの考えを広め、地域福祉の基盤をつくりま す。 | |
| 2 わかりやすく、相談しやすいしくみづくり (考え方) 世の中の変化により住民が多様な問題を抱える中、相談体制を充実させ、広く周知していくことが一層重要となってきます。また相談が増加傾向にある虐待関係についても支援体制の充実を図ります。 | |
| 4 福祉を推進していくためのまちづくり (考え方) 人にやさしいまちの整備をソフト、ハードの面から推進したり、地域の人材育成を行うことで地域福祉の推進を図ります。 | |
| 3 住み慣れた地域でいきいきと暮らせるしくみづくり (考え方) 住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしていけるよう、健康に関する意識の向上や健康増進のための活動を進めます。 | |

